

宇宙戦略基金 クロスユーPJ概要

2026年6月



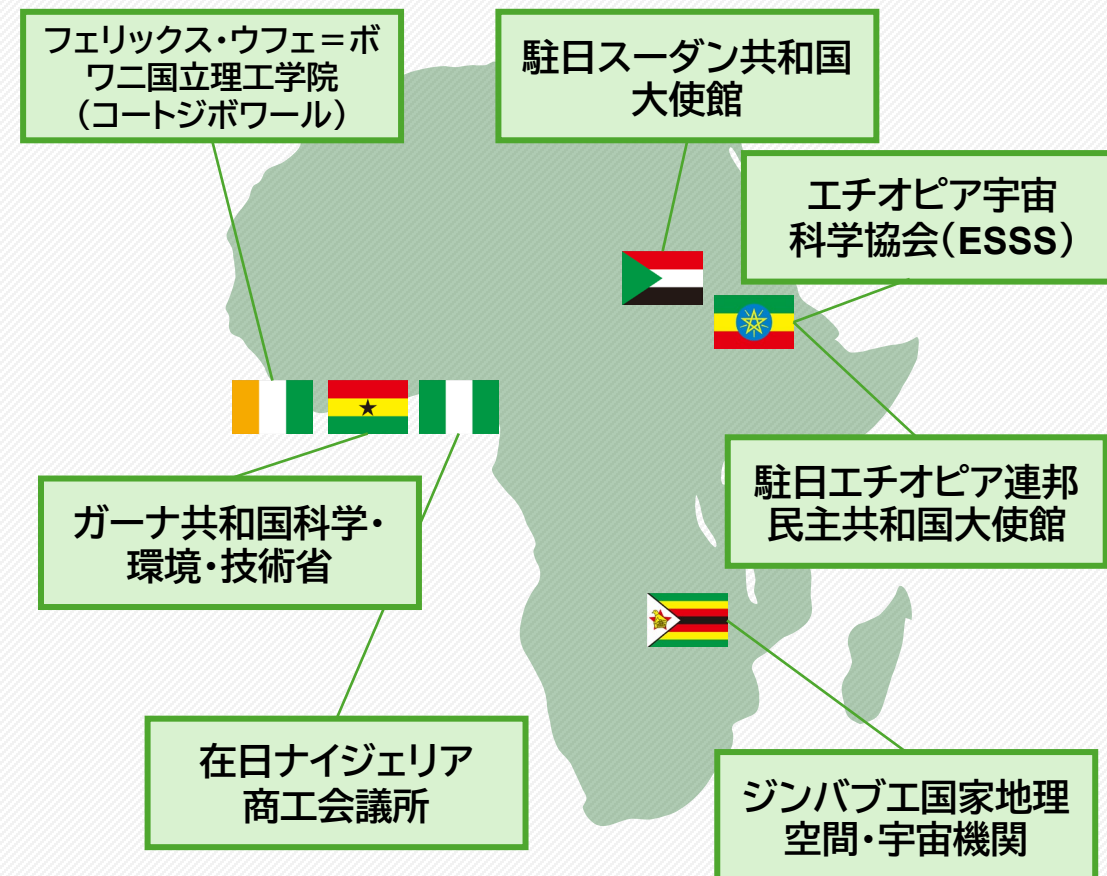
クロスユーは、日本とアフリカ諸国の共創を促進し、日本の宇宙技術を活用したアフリカの社会課題解決に取り組む

クロスユーのアフリカにおける主な取組

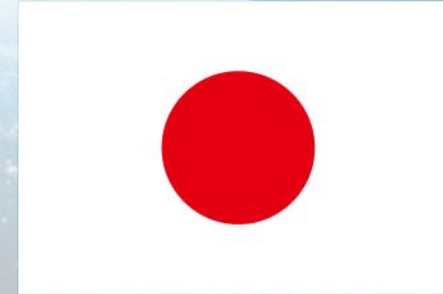
- クロスユー新興国WGの設立・運営(2024年11月～)
- アフリカにおける貿易・投資促進のための官民合同ミッション(エチオピア・ガーナ)(2026年1月)
- エチオピアでのワークショップ開催・NSAC(ガボン)への展示参加(2026年4月)



クロスユーのMOU締結先



日本とアフリカが宇宙分野で社会課題解決と産業成長を共に実現する、持続的な共創パートナーシップの構築を目指す



社会課題解決と産業基盤の強化

- ◆ 宇宙インフラ・データを活用した行政・社会サービスの高度化
- ◆ 現地人材・企業・スタートアップの育成
- ◆ 新たな産業・雇用の創出による経済成長

継続的な連携・事業機会の創出

- ◆ 日本の宇宙技術・サービスの利用機会拡大
- ◆ 現地パートナーとの継続的な事業創出
- ◆ 官民・多国間連携による複数国への展開

クロスユー新興国WGでは、産学官で連携して活動を実施



クロスユー新興国ワーキンググループ

事務局



CROSS U



公的機関・国際機関

内閣府

外務省

文部科学省

経済産業省

環境省

JICA

JAXA

JETRO

アフリカ開発銀行

- 海外進出をサポート
- 相手国政府との調整をサポート



民間企業

AXELSPACE

Arkedge Space

Synspective

インフォステラ

スペースシフト

SPACE BD

Tellus

Ridge-i

RESTEC

(リモート・センシング技術センター)

- 技術やソリューションを提供
- 現地企業との調整



学術団体

東京大学

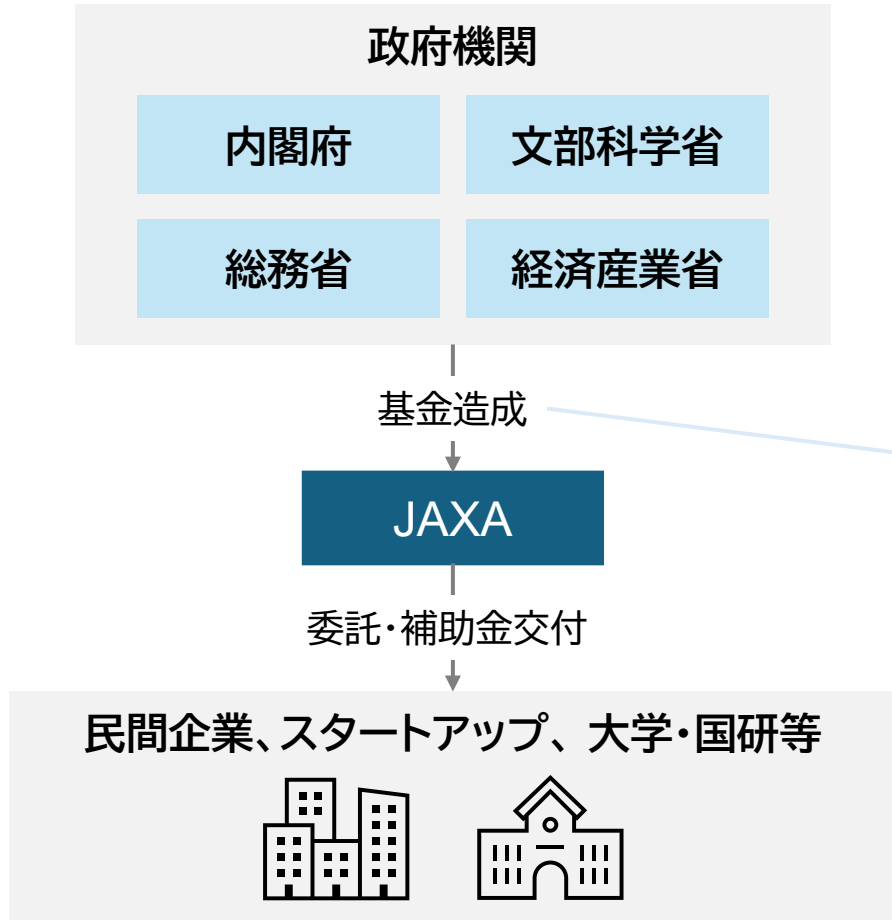
九州工業大学

慶應義塾大学

UNISEC-GLOBAL

- 教育の場の提供
- 現地機関との調整

宇宙戦略基金とは、JAXAを通じて 日本の宇宙産業の技術開発・実証・商業化を支援する国家プロジェクト



宇宙戦略基金概要



SPACE STRATEGY FUND

3つの支援分野

- 「輸送」「衛星等」「探査等」

3つの目標

- ①宇宙関連市場の拡大(2030年代早期に4兆円⇒8兆円等)
宇宙関連市場の開拓や市場での競争力強化を目指した技術開発を支援
- ②宇宙を利用した地球規模・社会課題解決への貢献
社会的利益の創出等を目指した技術開発を支援
- ③宇宙における知の探究活動の深化・基盤技術力の強化
革新的な将来技術の創出等に繋がる研究開発を支援

宇宙戦略基金事業において、「日本発の衛星データ利用共通基盤を活用したアフリカ社会課題解決手法の確立」が採択

アフリカの現状と課題

- 人口増加:2025年には15億人、2050年には25億人に達する
- 農業・インフラ・防災の課題が深刻化
- 提供側がサービス設計を主導し、専門化仕様で現場の行政官には難しい
- 「売切り」「インフラ支配」ばかりで、技術が定着しない

本事業の目指すところ

- 社会課題解決に衛星データを利用する流れをアフリカの複数国に創出
- 自立性をもつ現地エコシステムを二つの実装装置により構築

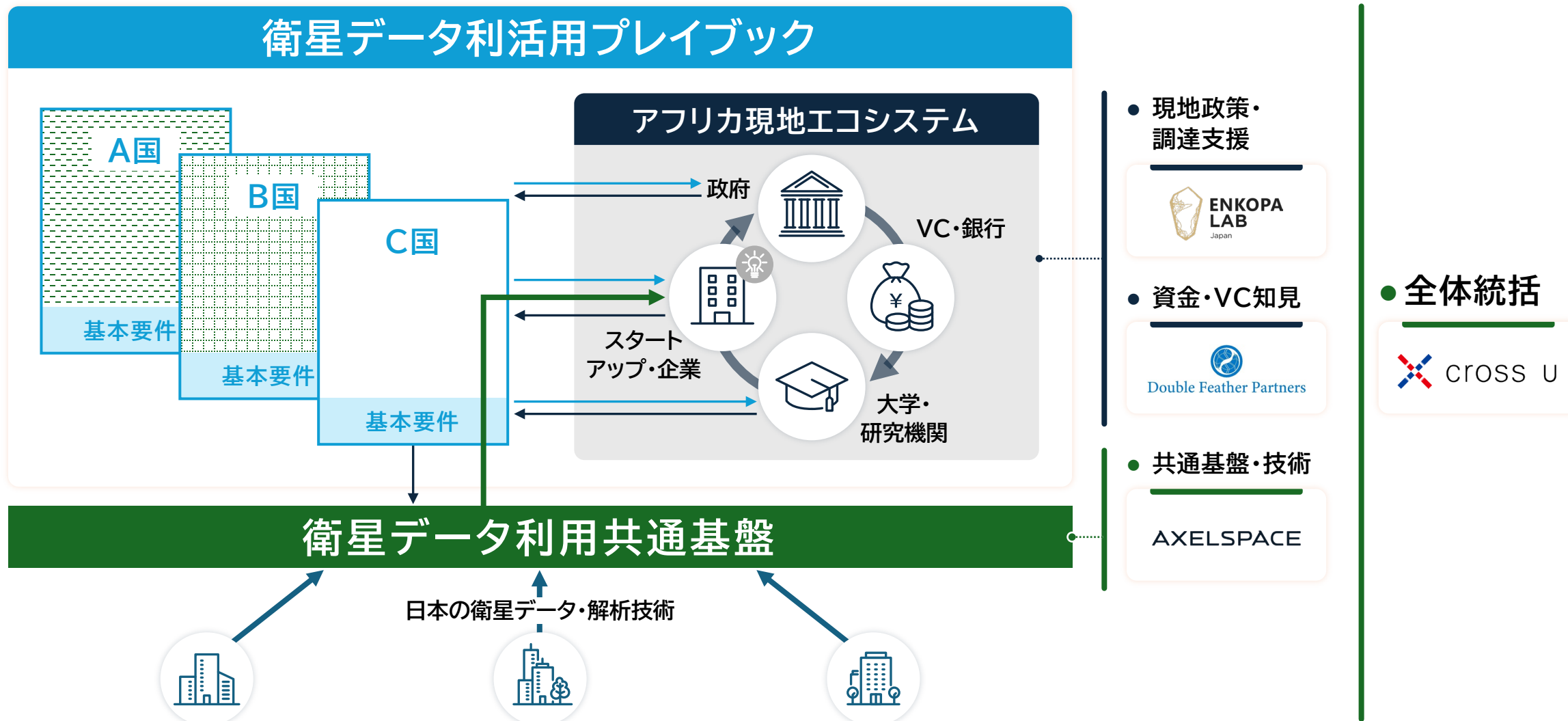
事業実施者

事業者名	一般社団法人クロスユー  CROSS U	株式会社アクセルスペース AXELSPACE	株式会社Double Feather Partners  Double Feather Partners	合同会社ENKOPA Lab  ENKOPA LAB Japan
主な役割	全体統括	共通基盤・技術提供	資金・VC知見の提供	現地政策・調達の支援

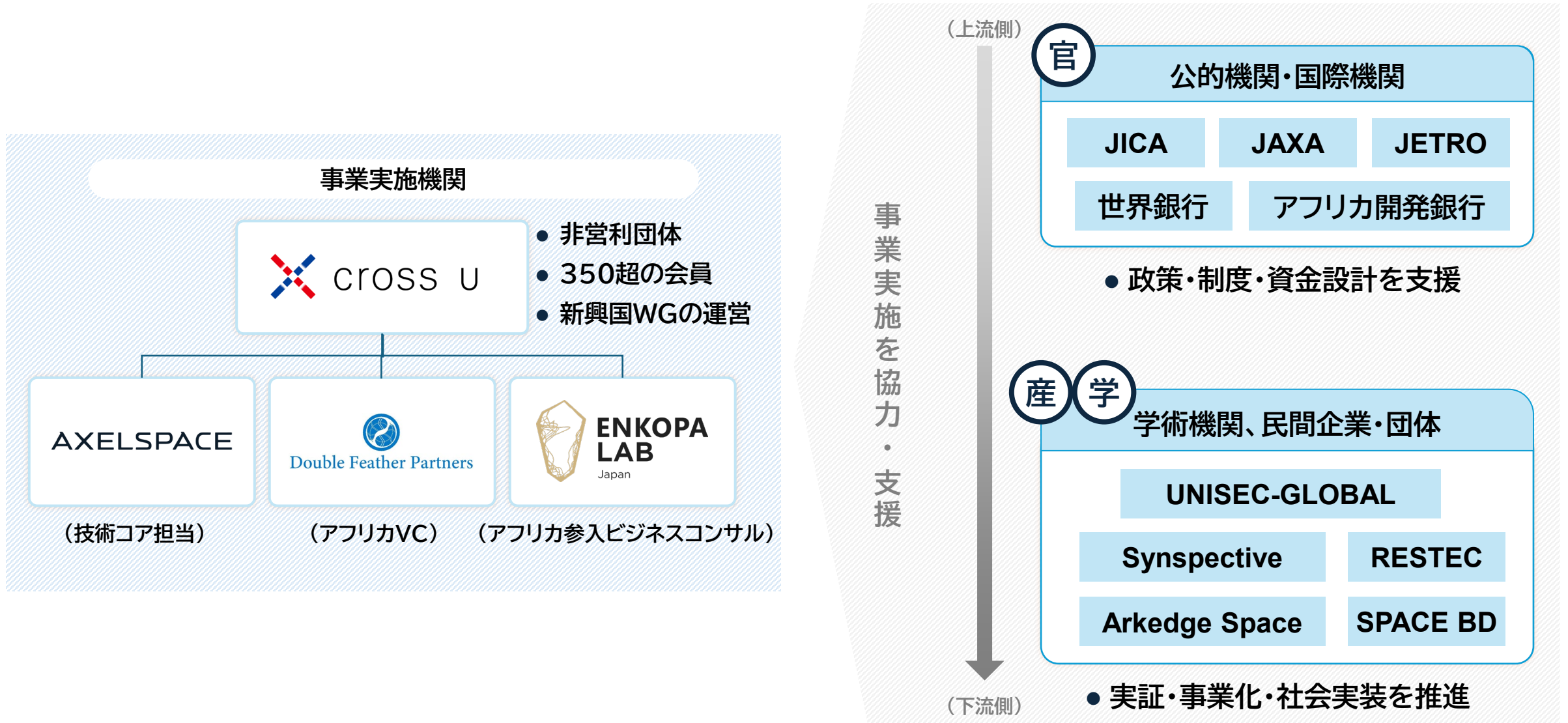
*宇宙航空研究開発機構(JAXA)が推進する宇宙戦略基金事業第二期の技術開発テーマ「衛星データ利用システム実装加速化事業(B)海外における衛星データ利用システム等の開発・実証、社会実装基盤整備(委託)」において、「日本発の衛星データ利用共通基盤を活用したアフリカ社会課題解決手法の確立」を提案し、採択

「共通基盤」と「プレイブック」による現地エコシステムの自走化を目指す

■利活用データ ■手法 ■ニーズ



産学官のチームで、政策議論から社会実装まで一気通貫で推進



3年をかけて、FS・パイロット実証から「自走化」に向けたモデルを確立

支援終了後

- 現地政府による予算化
- 衛星データ利用共通基盤のインフラ化

マスタープラン横展開

3年目(2028)

- 「自走化」に向けたビジネスモデル確立。
- 他国への横展開モデル(マスタープラン)の策定。

パイロット実証・改善

2年目(2027)

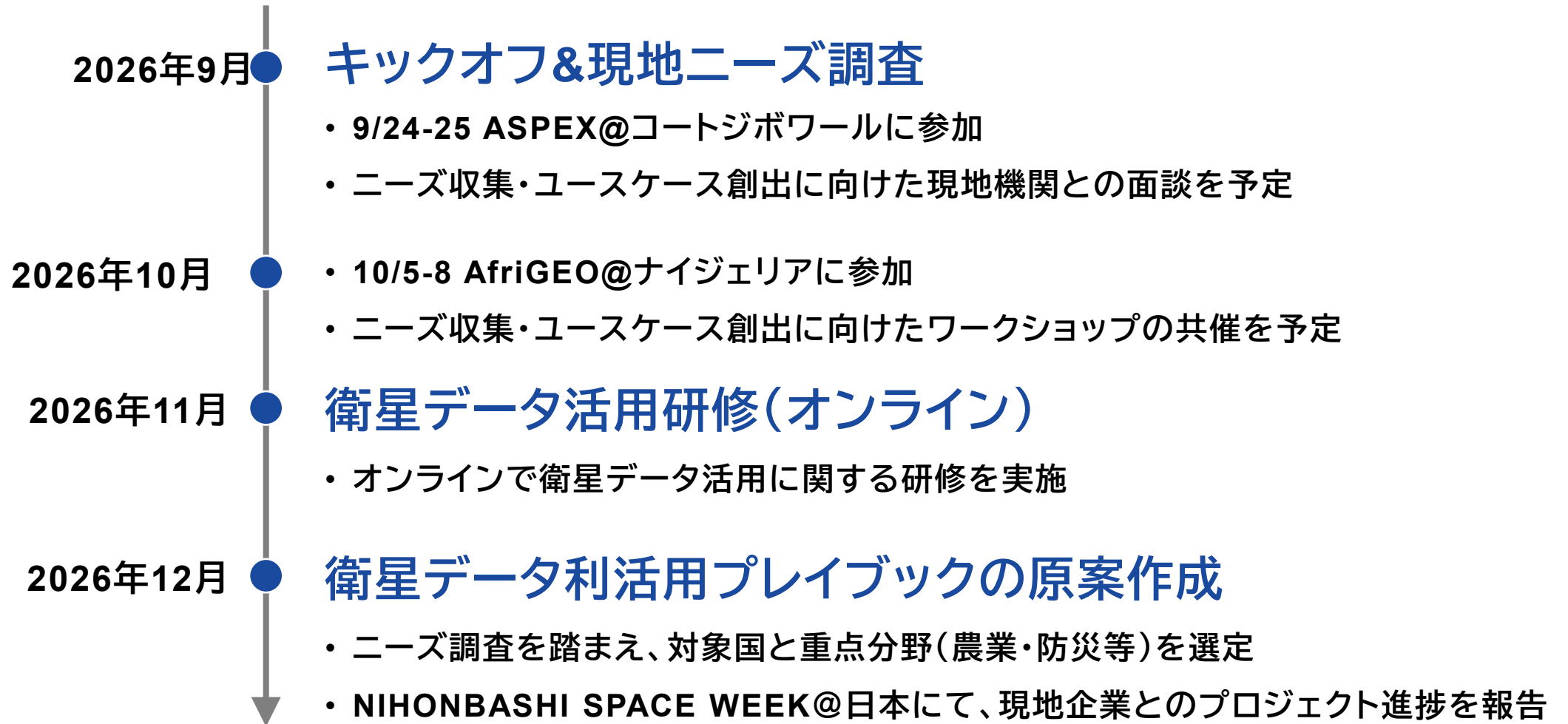
- プロトタイプを用いた実証実験(農業、防災等)。
- フィードバックに基づくUI/UXとプレイブックの改良。

FS・基盤構築

1年目(2026)

- 対象国での詳細ニーズ調査。
- 現地WG立ち上げ、共通基盤の仕様設計。

1年目は現地ニーズ調査を実施し、対象国と重点分野を選定予定





cross U